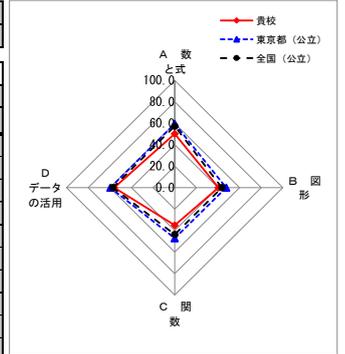


・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立小岩第三中学校	東京都（公立）	全国（公立）	
		139	70,865	891,913	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		14	46	54	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	50.2	59.5	57.4
	B 図形	3	40.5	47.6	43.6
	C 関数	3	35.0	47.1	43.6
	D データの活用	3	55.9	59.5	57.1
評価の観点	知識・技能	9	54.2	62.4	59.9
	思考・判断・表現	5	31.5	39.7	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	48.9	55.2	52.6
	短答式	5	58.4	68.2	65.7
	記述式	5	31.5	39.7	36.2

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



現状把握(調査問題から見た課題)

- 全国の平均正答率、都平均正答率と比べ全ての領域において下回っている。
- 「学習指導要領の領域」においては、「関数」が特に全国や都の平均を下回っており、基礎的な知識・技能を確実に定着させていくことが課題である。
- 問題形式による正答率への大きな影響は見られないが、記述式の課題への正答率は「選択式」「短答式」と比べると下回っている。

指導改善のポイント

- 関数の力を伸ばすため、式・グラフ・表と関連付けた学習を繰り返し行い、基礎的な知識・技能を確実に定着させる。
- 少人数授業にて習熟度別授業を継続して実施し、個別指導の夏季会を多く取り入れられるよう工夫し、個別対応の時間を確保できるよう努める。標準クラスによる基礎的な計算力の向上を今後も図るとともに、発展クラスでは発展問題を取り組む時間を増やし、生徒の学習意欲を引き上げていく。